



いちかわみさと

議会だより

第62号

2021年2月1日発行



進む芦川河川改修工事（芦川橋より下流右岸）

令和2年 12月定例会

山梨県市川三郷町

● 条例の改正、計画の策定・変更	P2
● 令和2年度一般会計補正予算 第4回臨時会	P3
● 常任委員会報告	P4~5
● 組合議会報告	P6~7
● 一般質問	P8~14
● 審議結果	P15
● みんなのページ	P16

一般会計補正予算

収入支出の補正額は
補正額 1億1778万円
総額 115億9662万円

収入のおもな内訳

分担金及び負担金更正	△1375万円
国庫支出金	3463万円
繰入金(財政調整基金)	6887万円
県支出金	365万円
諸収入	2187万円
町債	250万円

支出のおもな内訳

第4回 臨時会

総務費

三珠庁舎地下タンク廃止及び地上タンク設置工事費	218万円
新型コロナウイルス感染症対策大学生等学業継続支援事業費補助金	1160万円

衛生費

インフルエンザ予防接種助成事業(妊婦、重度身障者、小中学生を対象)	738万円
-----------------------------------	-------

12月 定例会

衛生費

妊婦・乳幼児健診事業委託料等追加	201万円
------------------	-------

教育費

小中学校児童生徒用タブレット端末等設定変更作業	2693万円
機械器具費更正	△2099万円
市川小学校図書室漏水防水改修工事費	596万円

民生費

福祉センタートイレ改修工事費追加	253万円
私立保育園・認定こども園等施設委託料追加	1657万円
福祉避難所消耗品・備品購入費	349万円

農林水産業費

モモせん孔細菌病防除対策支援事業費補助金	80万円
----------------------	------

商工費

空き店舗チャレンジショップ事業費補助金	100万円
信玄公生誕500年記念花火リレー実行委員会負担金	185万円

土木費

町道笹鼻川浦線(三珠)工事費等追加	3568万円
道路後退部分筆作業等委託料追加	100万円
狭あい道路工事費追加	570万円

*繰入金 … 会計の収入不足を補うために、他の会計や積立金(基金)から充てられる資金。
*更正 … 予算を減額すること。金額は△で表示。

令和2年 第4回臨時会

10月27日開催

契約の締結、令和2年度一般会計補正予算等が提出され、いずれも原案どおり可決・同意されました。

●町立小中学校学習者用端末購入契約の締結

・随意契約
(県公立学校情報機器整備事業による共同調達)
・(株)YSK eicom
・4811万1360円

●令和2年度一般会計補正予算

・補正額 2240万円

●教育委員会教育長の任命

渡井 渡氏(市川大門)
(令和2年11月29日任期満了に伴う再任)

令和2年第4回(12月)定例会は、12月2日から15日までの14日間(予備日・休会日含む)にわたり開催されました。今定例会では、承認3件、条例改正4件、令和2年度一般会計・特別会計補正予算11件、その他9件が提出され、いずれも原案のとおり承認・可決、同意されました。

条例の改正4件

●国民健康保険条例の改正

基礎控除額、給与所得控除額、公的年金等控除額の見直しに伴う改正。

●後期高齢者医療に関する条例の改正

「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」に改正。

●介護保険条例の改正

「特例基準割合」を「延滞金特例基準割合」に改正。

●指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の改正

管理者を主任介護専門員とする要件の適用を猶予し、主任介護支援専門員ではない介護支援専門員を管理者とすることを令和9年3月31日まで可能とするための改正。

国土強靱化地域計画策定

【計画期間】

令和2年度から令和6年度

「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が施行されたことに基づき、本町における国土強靱化に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため策定する。町の各計画の上位に位置づけられる。

新町建設計画の変更

「東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、合併特例債の発行期限がさらに5年間延長されたことに伴い、新町建設計画の計画期間を平成17年度から令和7年度までの20年間とするために計画の一部を変更する。

印章業支援に関する議会の取り組み

●国への意見書の提出

「社会のデジタル化と印章制度の共存を求める意見書」
10月27日の臨時議会で、「デジタル社会における印章制度の健全な維持・発展を図るため、適切な措置が講じられるよう国へ要望する意見書」を採択しました。

●町はんこ議員連盟設立

「伝統的印章文化を守り印章産業の未来を拓く市川三郷町議会議員連盟(はんこ議連)」
11月2日に全議員を発起人として設立(会長笠井雄一議長)しました。本会は、我が国の貴重な財産である伝統的な印章文化と国民にとって有益な印章制度を守り、印章産業の活性化とデジタル化社会との共存に資するための諸活動を、国・県・町や関係諸機関・団体との緊密な連携のもとに行うことを目的としています。

●名刺用落款印の作成

全議員14名の名刺用角印の作成を六郷印章業連合組合に依頼し、11月26日に納品されました。



常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務厚生常任委員会

開催日
12/3

国民健康保険税条例中改正

問 国保税を減額するため
の改正か。

答 芦沢税務課長 今回の改正
では負担増となる方はな
く、自営業の方には負担軽
減となる。

指定居宅介護支援等の事業の 人員、設備及び運営に関する 基準等を定める条例中改正

問 この改正により、介護
事業所への影響は。

答 渡邊福祉支援課長 事業所
として大きく変わるところ
はない。主任介護支援専門
員を必須とする事業所の管
理者設置を猶予し、介護支
援専門員を管理者とするこ
とを可能とする改正であ
る。

国土強靱化地域計画

問 県内他自治体の策定状
況は。

答 天野政策秘書課係長 7市
町村が策定済み、12市町村
が策定中、8市町村が策定
予定である。

問 町として一番力を入れ
たところは。

答 町長 命と財産を守ること
を大前提に各項目をバラ
ンよく策定した。

新町建設計画の変更

問 合併特例債（町合併に
伴い発行が認められた地方
債）の残りの発行可能額
は。

答 町長 本町の合併特例債発
行限度額は、約82億8千万
円であり、約80億円が発行
済のため、残り枠は2億8
千万円程度である。

職員研修

問 職員全員を対象とした
本町の財政問題についての
研修会の内容は。

答 石原総務課長 講師を招い
て市町村研修所の出張研修
という形で実施した。

感染症対策

問 新型コロナウイルス感
染症対策として役場来庁者
が検温できる装置の導入
は。

答 総務課長 本庁舎2台、三
珠庁舎1台、六郷庁舎1台
が間もなく導入予定であ
る。

介護保険特別会計補正予算 地域支援事業費

問 徘徊SOSネットワー
ク登録者保険の補償内容
は。

答 福祉支援課長 具体的には
「電車を止めてしまった」
等が対象となる。

◎…委員長 ○…副委員長

教育土木常任委員会

開催日
12/8

商工振興費

問 空き店舗チャレンジ
ショップ事業費（空き店舗
活用事業）補助金の対象
は。

答 林商工観光課長 六郷地区
にて革製品を扱う一店舗で
ある。

まちづくり推進費

問 補助金等の追加が多い
が、当初予算でしっかり計
上すべきでは。

答 渡辺まちづくり推進課長
予算計上時に過去2、3年
の平均申請件数を加味した
が、見込みを超えた申請が
あった。

問 町道笹鼻川浦線（三
珠）工事の残り延長と完了
時期は。

答 まちづくり推進課長 約40
メートルあり、令和3年度
末の完了予定である。

問 狭あい道路（幅員4m
未満の狭い道路）の整備内
容は。

答 まちづくり推進課長 7カ
所を見込んでいます。拡幅分
の土地提供を受け町が舗装
等を行う。

問 上野地区（三珠）の分
譲地の状況は。

答 まちづくり推進課長 11区
画中6区画が販売済で2区
画が手続中。購入者は町
外3世帯を含む8世帯の28
名である。

市川小学校管理費

問 市川小学校図書室の漏
水防止工事内容は。

答 望月教育総務課長 雨漏り
は以前からあり天窓周辺を
修理したが改善されず、10
月に悪化したため再調査を
行った。屋上防水シートの
老化が原因と判明した。

温泉事業特別会計

問 みたまの湯地下水受水
槽タンク増築追加工事の内
容は。

答 商工観光課長 現在100
トンのタンクに地下水を貯
め飲料用等に使用している
が、繁忙期の不足を解消す
る10トンの増設タンクの地
盤沈下対策である。

町道認定

問 今回認定される路線の
周辺にも今後道路整備が必
要と考えるが。

答 井上土木整備課長 土地の
有効活用のため実現に向け
今後も検討する。



町道認定視察(市川大門向新田)



◇所管 防災課、農林課、商工観光課、生活環境課、土木整備課、まちづくり推進課及び教育委員会
秋山 豊彦 ○笠井 辰生 小川 好一 ◎有泉 希 松野 清貴 三神 貞雄 村松 武人



◇所管 総務課、財政課、政策秘書課、町民課、税務課、いきいき健康課、つむぎの湯、福祉支援課、保育課、
議会議務局、出納室、三珠支所及び六郷支所
○齋藤 美佐 高尾 貴 笠井 雄一 ◎丹澤 孝 川崎 充朗 秋山 詔樹 一瀬 正

組合議会の報告

(万円未満は四捨五入)

三郡衛生組合

第2回定例会 11月2日

令和元年度一般会計、し尿処理事業特別会計、火葬事業特別会計決算認定3件で、原案どおり認定されました。

(報告 一瀬 正)

令和元年度 決算

一般会計		
歳入		2569万円
歳出		2334万円
差し引き額		235万円
本町の負担額	16.5%	368万円
し尿処理事業特別会計		
歳入		2億7010万円
歳出		2億5834万円
差し引き額		1176万円
本町の負担額	16%	3721万円
火葬事業特別会計		
歳入		1億8136万円
歳出		1億7486万円
差し引き額		650万円
本町の負担額	12.1%	1954万円

山梨県後期高齢者医療広域連合

第2回定例会 10月26日

専決処分の承認2件、令和元年度決算認定2件、条例の一部改正1件、令和2年度補正予算2件でいずれも原案どおり承認・認定・可決されました。

(報告 高尾 貫)

峡南広域行政組合

第2回定例会 10月15日

専決処分の承認1件、補正予算2件、令和元年度決算認定3件で、いずれも原案どおり承認・可決・認定されました。

専決処分の承認1件は、新型コロナウイルス感染症対策に伴うもの。

(報告 松野清貴)

令和元年度 決算

一般会計		
歳入		16億9554万円
歳出		16億6833万円
差し引き額		2721万円
本町の負担額	26.6%	2億3509万円
介護保険特別会計		
歳入		2億2391万円
歳出		2億1230万円
差し引き額		1161万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計		
歳入		1610万円
歳出		1557万円
差し引き額		53万円

中巨摩地区広域事務組合

9月定例会 9月29日

令和2年度補正予算2件、令和元年度決算認定6件、同意案件1件で、いずれも原案どおり可決・認定・同意されました。

同意案件は、監査委員の選任について同意を求める件で、新たに本町の笠井雄一議員が選出されました。

(報告 小川好二)

峡南衛生組合

第2回定例会 10月8日

令和元年度決算認定1件、令和2年度補正予算1件で、いずれも原案どおり認定・可決されました。

第1回臨時会 11月27日

提出された議案は、条例制定1件、条例改正1件であり、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 秋山豊彦)

令和元年度 決算

一般会計		
歳入		5億5010万円
歳出		5億2961万円
差し引き額		2049万円
本町の負担額	11.7%	5109万円

山梨西部広域環境組合

第2回定例会 10月28日

令和元年度決算認定1件で原案どおり認定されました。

(報告 丹澤 孝)

令和元年度 決算

一般会計		
歳入		1382万円
歳出		792万円
差し引き額		590万円
本町の負担額	5.3%	56万円

令和元年度 決算

一般会計		
歳入		5億5814万円
歳出		5億3974万円
差し引き額		1840万円
本町の負担額		1202万円
後期高齢者医療特別会計		
歳入		1055億6661万円
歳出		1047億5552万円
差し引き額		8億1109万円
本町の負担額		2億2376万円

令和元年度 決算

一般会計		
歳入		5755万円
歳出		5494万円
差し引き額		261万円
本町の負担額	7.97%	381万円
ごみ処理事業特別会計		
歳入		13億7695万円
歳出		13億3520万円
差し引き額		4175万円
本町の負担額	8.37%	8466万円
地区公民館事業特別会計		
歳入		976万円
歳出		899万円
差し引き額		77万円
本町の負担額	7.97%	70万円
老人福祉事業特別会計		
歳入		3588万円
歳出		3298万円
差し引き額		290万円
本町の負担額	7.97%	250万円
勤労青年センター事業特別会計		
歳入		5210万円
歳出		5009万円
差し引き額		201万円
本町の負担額	11.36%	451万円
し尿処理事業特別会計		
歳入		2億9452万円
歳出		2億8759万円
差し引き額		693万円
本町の負担金は対象外		

新自治公民館建設は再検討を

一瀬 正 議員

―地域コミュニティ維持のために必要である―

〈質問項目〉

1. 市川郵便局南側への自治公民館建設は再検討すべき
2. 公約の中学生までの給食費無料化を
3. 中央市浅利地区へ建設予定のゴミ処理施設の汚染防止及び風評被害対策への行動方針は
4. はんこ産業が国の手続き見直しにより危機を迎える状況にある。国、県への積極的対応策への取組みは
5. 六郷地区の福祉タクシー券に替わる支援策は
6. 国保税滞納世帯への町独自の支援策強化は
7. 介護制度への町独自の支援策は

〈質疑概要〉

問 南線通り郵便局南側への新自治公民館建設計画の概要は。予定地は分譲地であり人口増加策として住宅地での活用が望ましい。空き家の活用や代官所跡地整備事業と関連した計画化はできないか。

町長 地域で使用してきた中地区公民館は耐震面から取り壊した。地域コミュニティのためにも基盤となる公民館の整備は重要であり、地区からの強い要望を踏まえ総合的に判断した。用地費2532万円、建設費4780万円、合計約7310万円と見込む。財源は条件の良い過疎対策事業債を活用する。歴史施設との関連整備は、大型事業となるため、時期等について町全体計画の中で慎重に検討を進める。

問 中学生までの給食費無料化の実現を。

町長 平成30年度から小学生給食費は町が全額負担。中学生給食費は、今年度は新型コロナウイルス対策の負担軽減のため全額無料とした。来年度は、今後の財政状況を踏まえ検討する。

問 中央市浅利地区へのごみ処理場建設に対する大塚地区からの要望実現への行動方針は。

町長 令和2年10月、大塚地区から山梨西部広域環境組合へ提出する要望書を町でも受け取った。今後、地区要望を実現すべく、組合及び県関係機関に対して十分な対策・対応を求め協議していく。

問 押印制度見直しに関する取組みと今後の方針は。

町長 平成30年1月の「デジタル・ガバメント実行計画」の閣議決定時に、「印章制度の継続を求める要望書」を関係大臣及び自民党3役に手渡すなどの活動を行ってきた。今後、これまでに係団体との連携により情報共有し、全力で取り組む。

問 六郷地区の福祉タクシー券に替わる高齢者及び障がい者支援対策を。

町長 対象者にタクシール券を交付している。六郷地区ではタクシール業者廃業後申請率が37%と低迷しており、事業評価を行っている。町コミュニティバスは六郷線と循環線を運行。異なる支援策を検討する。

問 生活困難なため国保税を滞納している世帯への支援策強化を。

町長 5つの減免制度の実施と合わせ、今年度5953万円を町国民健康保険特別会計に繰入れ、間接的に国保税の軽減を図っている。関係課等の連携を密にした支援を行っていく。

問 介護保険制度について町独自の施策の取組みは。

町長 令和3年度から5年間の「第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を策定中。町独自の施策として生活支援体制整備事業等の各種事業の充実を図る。

本町の国土強靱化地域計画の骨格は

村松 武人 議員

―町民の命と財産を守る視点で最上位計画として取り組む―



〈質問項目〉

1. 国土強靱化に関して
2. 国土強靱化地域計画策定について
3. 災害時の非常食等備蓄体制について

〈質疑概要〉

問 本町の国土強靱化地域計画の策定状況は。

町長 国の国土強靱化基本法に基づき、本町の特性を鑑みて、想定される災害への対応に万全を期して策定し、本議会に提案した。必要が生じた際には速やかに改定していく。

問 主にどんな分野に力を注ぐのか。

塩沢防災課長 本町における最上位計画であり、人命の保護、町の重要な機能の維持、町民の財産・公共施設の被害の最小化・迅速な復旧、復興が主な目標である。

問 災害時の非常食等備蓄体制は。

町長 防災備蓄倉庫は、三珠地区5カ所、市川地区8カ所、六郷地区8カ所の合計21カ所に整備済み。山間地域の孤立集落対策用防災備蓄倉庫は、三珠地区に6カ所、市川地区に11カ所、六郷地区に4カ所の合計21カ所に整備済み。大規模災害等を想定した備蓄品等は、備蓄食料、アルファ米6万1550食、備蓄飲料水2リットルペットボトルは2万7086本を備蓄している。

問 コロナ禍における避難所ベットの備蓄は。

防災課長 三珠支所の倉庫に段ボールベッド190台、東日本イノアック様から寄贈のポリエチレンマット400枚。段ボール製の間仕切りパーテーション180台。生涯学習センターには50台の段ボールベッドを配備している。

問 本町の避難場所の3割が、ハザードマップで浸水域以外に大型備蓄倉庫の必要性は。

町長 備蓄倉庫があっても多くが水没してしまう地形なので、国土強靱化の事前防災として、対策について国と折衝する。

問 大同地区で防災無線の不具合が長期間に及んだ経緯を踏まえて、今後の考えは。

町長 家の中で情報を受けるシステムの構築を考えると、膨大な予算を必要とするため補助金を研究して町民の命を守る観点から将来設計の中でシステムを構築していく。

問 大同地区のアンケートで個別受信機の意見が多かったが、町内で配置している地域はあるのか。

防災課長 山間地において、個別受信機を59カ所配置している。費用は1台あたり約20万円である。

町配布マスクの不良品への対応は

秋山 豊彦 議員

— 100箱分が追加納品された —

〈質問項目〉

1. 不良品のマスクについて
2. 随意契約について
3. 随意契約の見積期間について
4. 町民体育館の利用状況について

〈質疑概要〉

問 町が配布したマスクの不良品比率は全世帯から抽出して再調査すべきでは。

町長 町内在住職員123名の6150枚を調査し90枚、1・463%に不具合があった。

石原総務課長 コンサルタントの統計上の計算で全33万5千枚のうち不良は誤差を含め最大5000枚と見込まれた。

問 不良品の補償内容は。

町長 100箱を補償として求め、納品された。

総務課長 不具合を申し出た町民には交換し、余りは備蓄在庫としている。

問 鼻の部分の金具が針金で、そもそも危険な製品では。

町長 その材質によって全て不良品とはいえないと考える。

問 競争入札にできなかった理由は。

町長 町民に一刻も早くマスクを届けたかったため、緊急の必要があると判断し、見積期間を短縮しての随意契約とした。

問 緊急といえるのか。

薬袋財政課長 緊急の感染症蔓延防止策と考える。

総務課長 4月下旬に検討を開始した時点で、通常発注しても納品が出来なかった。5月に議決され契約し、6月3日に納品されたが配布が7月7日までか

かったのは想定外であった。

問 入札の予定価格は。

総務課長 当時の相場から50枚1箱3000円と判断した。

問 入札参加資格申請者のうち、他にマスクを取り扱う業者はなかったのか。

総務課長 物品役務提供16社のうち、紙加工品を扱う2社を選んだ。

問 入札前に臨時議会をなぜ招集できるのか。

町長 随意契約の成立を見込んだもので、万が一不調なら開会後に説明することとなる。

総務課長 平成28年以降、これまで6件の招集例がある。

問 落札額と、落札率は。

町長 1909万5千円で、95%である。

問 町民体育館の床の構造は。

町長 弾性スポーツ床シート6・5ミリをコンクリートに直貼りしている。ボール反発性、転倒衝撃時の硬さ、防滑性とも基準をクリアしている。

問 町民体育館は旧館に比べ機能が劣り、冷暖房設備もないのはなぜか。

町長 車いす観覧席や多目的トイレ、ウォーキングロードなど新機能が整備されており劣ることはない。空調は設置に1億円、維持に年間約490万円がかかり、近隣町村にも設置事例がないため断念した。

山梨西部広域ゴミ処理場の地域要望への対応は

小川 好一 議員

— 関係機関に対し十分な対策を働きかけていく —



〈質問項目〉

1. 山梨西部広域環境組合の今後の対応について
 - ① 処理場と隣接する大塚地区要望書の対応について
 - ② 町として今後どのような運動を展開していくのか
2. 本町地場産業のハンコを守る運動について
 - ① 今までの反対運動の行動内容と対応は
 - ② 町として今後どのような運動を展開していくのか

〈質疑概要〉

問 令和13年度からは、市川三郷町を含めた5市6町の約32・6万人分のゴミ処理施設が稼動することとなり、処理場までの搬入・搬出の交通体系は、多数の関係する車両が走行する。令和元年10月30日、中央市浅利地区に決定した経緯は。

町長 県のごみ処理広域化方針に基づき、平成30年2月以降11市町で構成する「峡北・中巨摩・峡南地域ごみ処理広域化推進協議会」で協議してきた。中央市大田和地区と浅利地区が選考地として残り、1首長が棄権し、10首長の採決で7対3で浅利地区に決定した。

問 浅利地区はバイパスの新設、周辺道路の整備、地区公民館の建設、地域振興費の年間120万円を要求し、全額で16億円とも言われているが。

町長 中央市浅利地区の条件は、まだ決定していない。山梨西部広域環境組合の管理者会・議会で提案があると思う。

問 隣接する大塚地区は、施設の建設に反対してきたが、何の補償もないまま、建設予定地が決定したが。

町長 県関係機関に対して十分な対策、対応をするよう直接協議をしていく。

問 対策連絡会が取りまとめた地域要望の実現に向け、どの様に環境組合と交渉していくのか。

町長 組合は、基本構想の策定後に大塚地区への説明会を実施する。町は、地区の意見を出来る限り反映し、不安を取り除かれるよう、組合に対して働きかけていく。

問 全国屈指のハンコの産地である本町は、誰よりも早く、誰よりも熱心となり、町の主要産業であるハンコを守る運動の先頭に立ち、運動を展開すべきであると考えが。

町長 歴史や技術など尊い文化を知ってもらい良い機会と捉え取り組む。

問 この産業を守るために、長崎知事との様な連携を取っていくのか。

町長 県と協力しながら、特に長崎知事とは連携し、取り組む。

町「歴史資料館」の整備を

丹澤 孝 議員

「当面は既存施設を活用しての特別展開催を検討する」

〈質問項目〉

1. 町「歴史資料館」の整備
2. ifセンター(生涯学習センター)前県道整備時に無電柱化の実現

〈質疑概要〉

問 町総合計画では「自然・歴史・文化を生かした『にぎわい』づくり」を基本方針としている。そのために、町全体を網羅した「歴史・文化・産業・人」を理解できる情報を発信する町「歴史資料館」の整備が必要である。

町長 印章資料館・歌舞伎文化資料館などの既存施設で情報発信や観光施設として活用している。ふるさと教育と連携する中で郷土の歴史等の情報発信や学びの推進の強化を検討する。

問 旧町民会館等にあった資料等の保管状況は。

森川生涯学習課長 代官所の古文書等の歴史資料や江戸期、明治期の古民具、書画などがある。ifセンター倉庫及び歌舞伎文化公園内の民俗資料館に移転した。

問 総合計画では「町独自の『ふるさとキャリア教育』の方向性の検討」を掲げている。取り組み状況は。

望月教育総務課長 現在は、各学校それぞれでふるさとキャリア教育を行っており。「ふるさとキャリア教育推進協議会」等を来年度発足させ、具体的検討に着手する。

問 資料館の整備は、民間で保有する文化財の散逸を防ぐ目的もある。民間団体とも共同し、展示イベントの開催等に取組めないか。

町長 町の尊い歴史を掘り起こし、後世に繋いでいくことは重要である。代官所跡地周辺整備事業と連携した中で検討するが、時間を要する。当面はifセンター等を活用しての特設展の開催などを検討している。

問 ifセンター前県道(三郡橋東地内)の拡幅事業の概要は。

町長 自転車通学生徒や通行の安全確保のため、地域説明会などを経て県で事業化された。現状の幅員5.5mを、車道部8m、自転車歩行者道3.5m、全幅11.5mとする道路拡幅を500m区間行う。本年度用地測量・補償調査、来年度用地取得、令和4年度工事着手の予定。

井上土木整備課長 ifセンター側の南側には歩行者・自転車通行道と自転車専用レーン、北側には自転車専用レーンを設ける。

問 地震や強風災害の電柱倒壊による停電や避難路の封鎖が懸念される。対策として、無電柱化の実現を県へ強く要望すべきでは。

町長 現時点では無電柱化の計画はない。事故防止の面から早期の事業完成が待たれることから工期等の関連で変更は困難と想定されるが、必要性は認識しており、県へ要望する。

***ふるさとキャリア教育**
ふるさとに生きる基盤を培う「ふるさと教育」とその基盤の上に自らの人生の指針を描く「キャリア教育」を融合した教育理念。

〈質問項目〉

1. 女性の視点を活かした防災対策について
2. 電子地域通貨について

〈質疑概要〉

問 女性の視点を活かした防災対策は。

町長 男女共同参画の視点を取り入れた防災計画の観点からも各関係機関を通じて女性の意見をいただきながら、防災訓練、研修、講演会等の実施に向けた女性防災の調査検討を行い、女性の視点を活かした防災対策を進めていく。

問 本町の防災計画への反映は。

塩沢防災課長 国の防災の復興ガイドラインでは、女性防災復興の主体的な担い手であると掲げており、女性の視点を取り入れた防災体制の確立をする必要があると考えている。今年度はコロナ禍でも、20回防災講座を行ってきた。講座の後にはアンケートを行い、女性の意見が吸い上げられるように進める。

問 県内初の洪水時の想定浸水深を電柱に「見える化」する看板は、防災意識の向上につながり好評である。今後も継続していく考えは。

防災課長 現在10カ所設置済みである。引き続き公共施設など、多くの方の目につくところに防災士と協議しながら設置していく。

問 姉妹町の静岡県西伊豆町で地域経済活性化策として導入している*地域通貨の考えは。

町長 コロナ禍における新たな生活様式の中の先進例として研究している。現在、キャッシュレスシステムの導入も進んでおり、どのような取り組みが一番ふさわしいのか検討を重ねている。

問 百歳体操などの健康づくりや、地域ボランティア、買い物時にマイバックを持参した人にポイント付与するなどSDGs(国連の持続可能な開発目標)に絡めた行動に応じて地域通貨を付与する考えは。

町長 世代間の違和感がなくバランスのよい地域通貨の検討を重ねている。

問 町内の商店で買い物した際のポイントを町として統一する考えは。

林商工観光課長 商店にとっても有利であるか、活性化につながり、統一できるものであるなら検討していく。

*地域通貨

法定通貨ではないが限られた範囲や店舗で利用できる通貨の事業の目的に合わせて独自の地域通貨を設定することができ。西伊豆町では観光客等が釣った魚を町の産地直売所で査定して地域通貨に交換するなどの取り組みを昨年より展開している。

地域の女性防災力強化につながる 防災訓練研修講演会の開催は 齋藤 美佐 議員

「各女性団体の意見を伺いながら防災講座の立ち上げを進める」



六郷IC周辺整備が進まない原因の解決を

笠井 辰生 議員

― 地域全体の将来を展望し面的に整備をしていく ―

〈質問項目〉

1. コロナ禍中の町内地域産業への支援策について
2. 六郷インターチェンジ周辺の活性化策について

〈質疑概要〉

問 新型コロナウイルスによる地域産業への影響を把握しているか。

町長 今夏9割近く減収の花火や、和紙・印章の事業者への影響は、町が窓口となつている経営融資申込状況からも承知している。

林商工観光課長 雇用への影響実態調査を検討している。

問 河野大臣の「はんこをなくす」発言の印章業への影響とその対応は。

町長 卒業記念のはんこを取りやめる事例など影響は大きく、甲州手彫り印章の価値と技術を発信したい。印章購入助成金や成人式の実印贈呈を今後も実施する。

問 関連団体や県との連携状況は。

町長 サプライズ花火やクラウドファンディング、テレビ番組企画やフェア出展に協力し、国・県の補助金や融資の斡旋をしている。

問 地場産業の後継者育成事業の進捗と今後の展開は。

町長 8月オープンした手漉き和紙「夢工房」で技術の習得に努めている。花火は経営者が世代交代している。印章は後継者育成が難しいが、地域おこし協力隊での募集等を行っていく。

問 夢工房の体験申込、商品開発状況は。

商工観光課長 青洲高校、市川小中学校や一般客の体験ほか、チラシ用紙の注文もある。商品開発はアクセ

サリイなど今までにないものを研究している。

問 夢工房での花火や印章とのコラボレーションは。

商工観光課長 構想を練り、ツアーも検討している。

問 六郷IC周辺のPF活用を目指した事業の進捗は。

町長 PFIと併せ民間の参入を促す方向でも協議をしている。

問 *地域経済牽引事業の重点促進区域だが県との連携は。

町長 県との協議を続けている。

問 住民アンケートなど整備に向けた合意形成を町で行うべきでは。

町長 周辺の道路整備も構想を描きつつある。将来を展望し面的に考える必要がある。

問 花伊電線の跡地整備は。

望月政策秘書課長 活用策を検討している。

問 企業誘致などが進まない原因・理由はあるのか。

政策秘書課長 道路状況や新型コロナウイルスの影響のほか、ハザードマップの浸水想定地域であり慎重姿勢もうかがえる。

問 コロナ禍における地方移住希望者の取り込みは。

町長 農泊体験からの移住希望者もあり、地域連携を活かし着実に進める。

人事

● 固定資産評価審査委員会委員

依田 千利世 氏(上野)
渡邊 正弘 氏(市川大門)
志村 一成 氏(落居)

● 教育委員会委員

一瀬 美教 氏(市川大門)

● 人権擁護委員

島田 三貴子 氏(上野)
遠藤 玲詩 氏(落居)
岡田 妙子 氏(岩間)
久保 欣史 氏(市川大門)

審議結果 第4回臨時会(10月27日)

補正予算(令和2年度)	結果
一般会計補正予算(第9号)	可決 全会一致
その他の議案	結果
小中学校学習者用端末購入契約の締結	可決 全会一致
教育委員会教育長の任命につき同意を求める	同意 全会一致
社会のデジタル化と印章制度の共存を求める意見書の提出	可決 全会一致

審議結果 第4回定例会(12月2日～15日)

承認	結果
職員給与条例中改正の専決処分	承認 全会一致
町長・教育長の給与及び旅費条例中改正の専決処分	承認 全会一致
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中改正の専決処分	承認 全会一致
条例の改正	結果
国民健康保険税条例中改正	可決 全会一致
後期高齢者医療に関する条例中改正	可決 全会一致
介護保険条例中改正	可決 全会一致
指定居宅介護支援等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例中改正	可決 全会一致
補正予算(令和2年度一般会計・特別会計)	結果
一般会計補正予算(第10号)(第11号)	可決 全会一致
国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決 全会一致
介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第2号)(第3号)	可決 全会一致
簡易水道特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
その他の議案	結果
国土強靱化地域計画策定	可決 全会一致
新町建設計画の変更	可決 全会一致
道路線の認定	可決 全会一致
道路線の変更	可決 全会一致
民事調停の申立て及び訴えの提起	可決 全会一致
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める	同意 全会一致
教育委員会委員の任命につき同意を求める	同意 全会一致
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任 全会一致
不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書の提出	可決 全会一致

次回定例会は令和3年3月に予定されています。

◆ 12月定例会の傍聴実績 (のべ人数)
本会議 40人 委員会 4人

◆ 会議録検索システム利用件数
令和2年10月から令和2年12月まで20,065件

※町のホームページから議会本会議の会議録の閲覧ができます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。

◆ お問い合わせ
議会事務局
TEL 055-272-1108

みんなのページ



平成31年1月にサロンを開催して「いいじゃん市川～甲州弁ラジオ体操～歌」から始まり行政等の協力を得ながら活動しております。お茶会では手作りおやつで、おしゃべりがはずみ楽しい時間を過ごしています。令和2年1月が過ぎた頃から新型コロナウイルス感染が流行し、感染拡大を防ぐため3月より休止しております。利用者さんは残念がっておりますが再開出来るのを楽しみに待っていただいております。

八乙女公民館サロン

日時
第4火曜日
13:30～15:30

場所
八乙女公民館

参加費 100円

代表者
一瀬愛子



新議会広報モニター委嘱

新たに12名を「いちかわみさと議会広報モニター」に委嘱しました。任期は令和2年12月から2年間となります。

各モニター様より、ご意見やご指摘をいただき、議会と町民の皆さまがより近くなり、町民の皆さまに見やすく、より親しまれる議会だよりとなりますよう編集委員一同心がけてまいります。

三珠地区

一瀬 隆 氏(上野)

齋木 登 氏(上野)

長田 祐子 氏(大塚)

市川大門地区

秋山 博子 氏(市川大門)

望月 英治 氏(市川大門)

若尾 かな江 氏(市川大門)

渡邊 一男 氏(市川大門)

井上 初美 氏(黒沢)

小池 一史 氏(黒沢)

六郷地区

笠井 みゆき 氏(楠甫)

芦澤 悠紀枝 氏(落居)

笠井 尚美 氏(岩間)

編集後記

本来であれば2度目の東京五輪・パラリンピックが開催され、高揚感の余韻に浸った年明けを迎えるはずでしたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で、特に医療関係者の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。

昨年は神明の花火大会など多くのイベントが中止となりました。これまで「当たり前」と思っていた日常の大切さを痛感しています。

武田信玄公生誕500年となる今年。神明の花火大会での見事な大輪の華が夜空を彩り、花火に包まれた感覚を味わうことができる年となる様願うものです。

(記 丹澤 園)

議会広報編集特別委員会

委員長 小川 好一

副委員長 丹澤 孝

委員 秋山 豊彦

委員 笠井 辰生

委員 齋藤 美佐

委員 川崎 充朗